



西中の未来に向けて（続編）

●新しい生徒会役員の抱負、前回に続き今回は「議長」「副議長」「書記」に就任する皆さんです。

◎ ○○ ○○○ さん（議長）

【西中をどんな学校にしたいか】

みんなが過ごしやすいと思える学校

【そのために、私は】

- ☆意見箱の活用をしていきます。
- ☆学校行事の活性化をしていきます。
- ☆新しいことへの挑戦をしていきます。
- ☆生徒が主体となるような学校づくりをしていきます。
- ☆一人一人の個性を生かした学校づくりをしていきます。

◎ ○○ ○○ さん（書記）

【西中をどんな学校にしたいか】

みんなが授業や行事に意欲的に取り組み、クラスや学年関係なく交流を深めることができるような活気のある学校にしたいです。

【そのために、私は】

- ☆まずは自分が生徒会役員という立場を自覚し、自分の言動に責任を持つ。
- ☆色々なことにチャレンジして、常に自分を成長させる。
- ☆積極的に誰とでも挨拶を交わし、積極的に発言する。
- ☆常に周りを見て、考えて行動する。
- ☆みんなに笑顔で明るく接する。

◎ ○○ ○○ さん（副議長）

【西中をどんな学校にしたいか】

誰もが通いたいと思える学校

【そのために、私は】

- ☆生徒の意見を取り入れる。
- ☆レクレーションを行う。
- ☆あいさつ運動を行う。
- ☆良い行動を放送する。
- ☆縦割り班をつくる。

◎ ○○ ○○ さん（書記）

【西中をどんな学校にしたいか】

生徒全員で作りに上げる学校

【そのために、私は】

- ☆生徒の意見を取り入れる。
- ☆学校行事の活性化
- ☆あいさつ運動
- ☆イベントを行う。
- ☆地域の人と交流

※西中を今以上に活気ある学校にしたいという新役員の意気込みにも頼もしさを感じます。生徒会活動が一層充実したものになるよう期待しています。

「県学力調査」の結果について

●1・2年生を対象に、12月に実施された「熊本県学力・学習状況調査」の結果が出ました。本校の大まかな傾向をお知らせします。

●学力調査は国・数・英の3教科で実施されました。各教科には「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で設けられていますが、昨年度の調査や今年度始めに実施された学力調査と比較して、県の平均正答率を上回った観点の割合が大幅に増えています。

●全体的に生徒たちが学力を着々と身に付けている様子が見えます。また、学習面以外でも「人の役に立つ人間になりたい」と答えている生徒が非常に高い割合を占めていることも特徴的です。

●その一方で、「学校で学んだことは、将来社会に出たとき役立つ」と答えた生徒の割合が昨年度より低下するなどの課題もありますので、この結果をしっかりと分析して、これからの指導に生かしていきます。



安心・安全のために

●これまで本校では同居のご家族が自宅待機の際には、生徒も登校を控えるようお願いしてきました。先の山西小学校の休校時のように、待機期間が長くなることもありますが、ご協力いただきありがとうございます。

●現在、本校の中で感染が広がる状況は避けられています。3年生のこれまでの入試でも、全員が予定どおり受験することができたことは本当によかったと心から思います。

●ですが、2月中旬以降も多くの高校等で入試が行われます。まだまだこれからです。本校では給食時以外のマスク着用、教室の常時換気、感染リスクが高い活動の停止、共用部分の毎日の消毒などの徹底を図っています。

●3年生はもちろん他の学年の生徒のためにも、学校が感染拡大の場にならないよう、今後できる限りの感染防止対策に取り組んでいきますので、よろしくお願いたします。